

耐震改修について

問 阪神・淡路大震災で、昭和56年5月以前の旧建築基準法で建てられた木造住宅の多くが倒壊し、大きな災害につながったことを踏まえ、減災に有効と考えられている耐震改修を進める施策について

(平成15年6月定例会など一般質問7回)

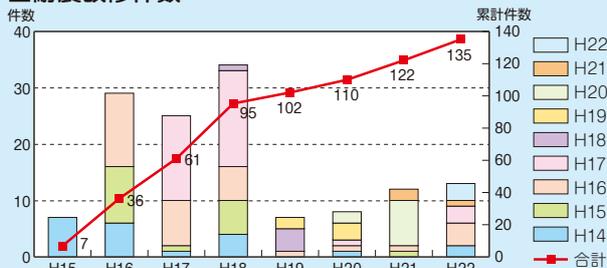
その後

平成15年4月から開始された耐震改修補助金額は60万円だったが、平成18年に67万5千円になり、さらに平成21年より75万円になっている。

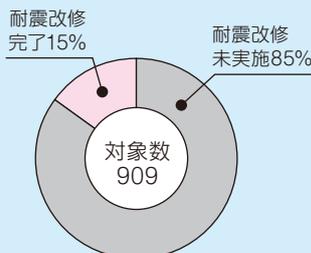
耐震診断数は平成14年度から平成22年度までに対象家屋数4千4百55件の24%になり、その内、危険と判断された改修対象家屋9百9件の内、1百35件の家が改修工事を実施されている率にして15%になる。

また、4月に既に50件の申し込みがなされている。これらは、知多半島5市5町でトップの成績である。

耐震改修件数



耐震改修実施状況



■ホールダウン金物で補強

Q&A その後どうなった？

そういえばあの答弁どうなったのかな

家具転倒防止について

問 大規模地震発生の際、家具による庄死や負傷を防止するため、家具転倒防止が重要だと考えられるが、人的支援や資金の助成の考えはあるか。

(平成19年6月定例会など一般質問4回)

その後

平成20年4月から、県の補助事業も活用しながら「家具転倒防止金具取付補助事業」を開始した。

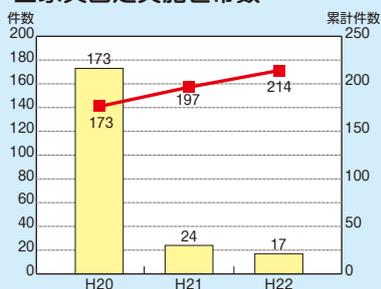
対象は満65歳以上の高齢者世帯、障害者手帳の交付を受けている者がいる世帯、母子世帯で義務教育就学以下の子どもがいる世帯に対し、1世帯で家具4点までが補助。ただし、家電や仏壇は除く。

5月にその制度を活用された、緑台にお住まいの佐藤さんご夫妻の家を訪問。
問 この事業を何でお知りになりましたか。

答 広報の欄をみて知りしました。

問 家具転倒防止を取り付けされたご感想は。
答 やっぱり、安心だね。

家具固定実施世帯数



■佐藤家の金具取付状況



■家具転倒防止講習会(於: 富貴中学校家具固定実習室)

質問席ができました。

平成23年6月定例会から一般質問を質問席で行いました。



いままでは

議長の前の登壇席で第1質問をし、再質問は自席に戻って行っていました。



6月定例会から



議員側の中央の前席を質問席にしました。第1質問から再質問までの質問席で行います。

本会議の傍聴はご自由にできます。
どうぞ、お気軽に議場へお越しください。

●町民の議会に関するご意見

みなさまからの議会に関するさまざまなご意見を募集し、議会だよりに掲載します。応募は、お手紙あるいはメールで。

※応募に当たっては、必ず、住所、氏名、連絡先(電話・メールアドレス)を記入してください。掲載時ご希望によりイニシャル表示とします。また、写真・ご意見とも掲載時に編集することがあります。

(0569)72-1111

gikai@town.taketoyo.lg.jp

お知らせコーナー

議会を傍聴しませんか？

本会議場で行われる議会は、どなたでも傍聴することができます。また、各委員会は、委員長の許可があれば傍聴できます。一般質問のもようは、9月10日(土)・11日(日)の午前9時からケーブルテレビ(CCNC)で放映する予定です。

次回定例会日程

9月1日(木) 9時 開会	13日(火) 9時 総務企画委員会
6日(火) 9時 一般質問	14日(水) 9時 文教厚生委員会
7日(水) 9時 一般質問	15日(木) 9時 産業建設委員会
9日(金) 9時 議案質疑	22日(木) 14時 採決

編集後記

例年より早く梅雨入りした今年。相変わらず、はっきりしない天気が続く今日この頃。

4月の町議選で選ばれし戦士18人。町民のために、何を思い、何をやるのか。お互いに、精一杯頑張っていきたい。

6月議会では、新人議員を含む13人が一般質問。その中で、東日本大震災に絡む同趣旨の内容を含む質問が、約50項目もあった。地震、防災に対する関心の高さを表す数字ではあろう。今回はある意味、特殊だったのかもしれない。

多くの町民のニーズは、今後も幅広く多岐にわたることが予想される。それに対応していける議員でありたいと思う。

(本村 強)



■編集作業風景